

## 《特集》 大地震が発生したら、まず何をする？

自分の身の安全を確保（身を低くして、特に頭部を守る）

火の始末（火元確認、初期消火）

逃げ道の確保（ドアや窓）

ガラスの破片から足を守るため、スリッパを用意しましょう

家族の安全確認

非常持ち出し品を用意

荷物は最小限に。この段階ではまだ「避難所」等に行くわけではありません

隣近所の安全を確保

阪神淡路大震災では、数万人の生き埋めが発生しました

救出された人の6割は隣近所の人たち、2割は家族による救助でした

近くにある「<sup>いつ</sup>一時避難場所」で、余震などの様子を見る

川口市が指定している「一時避難場所」（下戸塚町会内にある施設）

⇒ 戸塚はさみ公園、戸塚赤道公園、戸塚南公園、戸塚はさみ第二公園  
戸塚中台第二公園

⇒ 戸塚中学校（ここは「一時避難場所」と「避難所」を兼ねています）  
自宅から近い別の「一時避難場所」に行っても構いません

戸塚公民館は「福祉避難所」、お年寄りや障害のある方専用の避難施設

## 日頃の対策 「知っているけれどやっていない」から「まず1つ実行」へ

地震による被害を最小限に抑えるには、日ごろの予防対策が大事です

自宅の倒壊防止対策（市から補助金が出ます）⇒ 市の「建築審査課建築指導係」

家具の転倒防止対策（寝室のタンス、冷蔵庫、テレビ、本箱等）

ガラスの飛散防止対策 ⇒ NPO日本防災士会の「情報・ツール」などを検索してみてください

災害時の必需品の備えと家族の取り決め

隣近所との話し合いによる共助（助け合い）の取り決め

川口市は、「近隣のゴミ集積所・駐車場など」の近隣指定場所で、組単位の安否確認をするという指針を示しています。町内会の組単位で話し合い、場所と方法を決めておきましょう。

防災活動は、まさに地域づくりの自主的行動そのものです。

活動の一つとして防災便りを発行していくことにしました。次回は「AED」について特集します。